

科目名	データ分析 I									
科目名(英)										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		吉田 裕幸	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	経営ビジネス科1年									
授業概要	前期に培った論理的思考力とともにビジネスで必要とされる統計・データ分析力の基礎を身につける。また、代表的な統計の用語や考え方、Excel操作を身につける。									
	iCDタスクコード		EX02.1.2、EX02.5.1、EX02.5.2、EX02.6.2							
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				分析に適したデータに整形することができる				
	○	○				代表値、分散、標準偏差を使ってデータのバラツキや傾向、異常値を把握できる				
	○	○				ピボットテーブルやグラフなどを使ってデータを可視化できる				
	○	○				データ分析による仮説・検証が行える				
テキスト・教材 参考図書	よくわかる Excelではじめるデータ分析									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1-2	オリエンテーション、第1章：データ分析を始める前に、付録：データ整形					テキストの該当箇所を復習すること			
	3-4	第2章：傾向把握					テキストの該当箇所を復習すること			
	5-6	第2章：傾向把握					テキストの該当箇所を復習すること			
	7-8	第3章：データの可視化					テキストの該当箇所を復習すること			
	9-10	第3章：データの可視化/確認テスト①					テキストの該当箇所を復習すること			
	11-12	第4章：仮説検証					テキストの該当箇所を復習すること			
	13-14	第4章：仮説検証					テキストの該当箇所を復習すること			
	15-16	第4章：仮説検証					テキストの該当箇所を復習すること			
	17-18	第4章：仮説検証/確認テスト②					テキストの該当箇所を復習すること			
	19-20	第5章：関係性分析					テキストの該当箇所を復習すること			
	21-22	第5章：関係性分析					テキストの該当箇所を復習すること			
	23-24	第5章：関係性分析					テキストの該当箇所を復習すること			
	25-26	第6章：シミュレーション					テキストの該当箇所を復習すること			
	27-28	第6章：シミュレーション/確認テスト③					テキストの該当箇所を復習すること			
	29-30	練習問題復習/授業内評価テスト					テキストの該当箇所を復習すること			
評価方法	(1)授業内評価テスト、確認テストを実施する。(2)課題演習：単元ごとの確認問題を解答し提出する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	授業内評価テスト			◎				50%		
	確認テスト			○				20%		
	課題演習			○		○		30%		
履修上の注意										

科目名	ITサービス I									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		藤澤 昌聡	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	経営ビジネス科1年									
授業概要	経営に必須となるIT知識習得を目指す。既存システムを利用したネットビジネス展開、デジタルマーケティングを学ぶとともに、新たなネットサービス構築に必要な知識を実践を通して学ぶ。									
	iCDタスクコード		ST02.2.2							
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
		○		○		ネットショップを構築でき、運用することができる				
		○	○			製品やサービスを広く告知するためのデジタルマーケティングを実践できる				
	○					最新IT技術の概要、将来性について説明できる				
		○				IT技術を駆使した新規事業の立案ができる				
テキスト・教材 参考図書	なし									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	ネットビジネス概要の説明、ネットショップ開設								
	2	デザイン演習、ネットショップデザイン編集								
	3	商品開発①					販売商品に対する立案、計画をしておく			
	4	商品開発②					販売商品に対する立案、計画をしておく			
	5	デジタルマーケティング概要説明								
	6	デジタルマーケティング実践①								
	7	デジタルマーケティング実践②								
	8	Webサービスビジネス概要、ITエンジニアの仕事								
	9	最新IT技術説明と、新規ビジネス立案①								
	10	最新IT技術説明と、新規ビジネス立案②								
	11	最新IT技術説明と、新規ビジネス立案③								
	12	最新IT技術説明と、新規ビジネス立案④								
	13	最新IT技術説明と、新規ビジネス立案⑤								
	14	最新IT技術説明と、新規ビジネス立案⑥								
	15	新規サービス構築								
評価方法	(1)課題提出を評価する (2)新規サービスの立案、発表内容を評価する (3)授業への参加状況(グループワーク時の発言)。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	課題提出			◎				60%		
	立案・発表					◎		30%		
	授業態度					○		10%		
履修上の注意										

科目名	Word演習						
科目名(英)							
単位数	4単位		時間数	60時間		担当者	田中 陽子
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	経営ビジネス科1年						
授業概要	文書の作成・保存、文字への書式設定、段落の設定、箇条書きや段落番号の設定や変更、表の作成・編集、文書の印刷など、さまざまな目的や状況に応じた文書を作成・編集するスキルを身に付ける						
	iCDタスクコード						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				文章や文字列、段落に書式を設定することができる	
		○				表の作成や図形、オブジェクトの挿入ができる	
		○				脚注・資料文献・図表番号を挿入できる	
テキスト・教材 参考図書	MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集(FOM出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Word基本操作、タイピング練習、ビジネス文書作成					
	2-5	文書の管理					
	6-8	文字、段落、セクションの挿入と書式設定					
	9-11	表やリストの管理				書式設定を理解しておくこと	
	12-14	参考資料の作成と管理				表の作成、並べ替えを理解しておくこと	
	15-17	グラフィック要素の挿入と書式設定				脚注、文末脚注を理解しておくこと	
	18-19	文書の共同作業の管理					
	20-21	模擬試験実施 第1回から第5回解説					
	22-23	模擬試験実施 第1回から第5回解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	24-25	模擬試験実施 第1回から第5回解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	26	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	27	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	28	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	29	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	30	総復習				これまで習った機能を理解しておくこと	
	評価方法	(1)授業内評価テスト、確認テストを実施する。(2)課題演習：単元ごとの確認問題を解答し提出する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
授業内評価テスト			◎				60%
確認テスト			○				20%
課題演習			○		○		20%
履修上の注意							

科目名	プロモーション戦略Ⅰ									
科目名(英)										
単位数	1単位		時間数		30時間		担当者		今泉　こず恵	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	経営ビジネス科1年									
授業概要	SNSによる口コミや、企業のオウンドメディアなど、インターネットを介した情報発信は、これまで互いに情報を共有・拡散することで成長してきました。しかし2017年末頃から、この流れに変化の兆しが現れています。時代に合ったプロモーション戦略を学びます。									
	iCDタスクコード		CM01.2.1、CM01.2.2							
授業形態	講義：　　△		演習：		実習：　　○		実技：		※ 主たる形態：○　　その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目 標				
	○	○				自社の知名度を効果的に上げるためのブランド戦略を立てられる。				
	○	○				ターゲット市場に製品やサービスの価値が正しく理解されるメッセージをデザインできる。				
	○	○				プロモーション戦略の手法を組み合わせる事ができる。				
	○	○				時代に合った、プロモーション戦略ができる。				
テキスト・教材 参考図書	プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	オリエンテーション								
	2	プロモーション戦略とは								
	3	プロモーション戦略①広告					前回授業内容を復習しておくこと。			
	4	プロモーション戦略②広報、販売促進					前回授業内容を復習しておくこと。			
	5	プロモーションミックスについて考える					前回授業内容を復習しておくこと。			
	6	セルフプレゼンテーション①考え方					前回授業内容を復習しておくこと。			
	7	セルフプレゼンテーション②名刺作成					前回授業内容を復習しておくこと。			
	8	セルフプレゼンテーション③名刺作成					前回授業内容を復習しておくこと。			
	9	セルフプレゼンテーション④名刺仕上げ					前回授業内容を復習しておくこと。			
	10	ブランディングについて					前回授業内容を復習しておくこと。			
	11	イベント企画①種類・ターゲット					前回授業内容を復習しておくこと。			
	12	イベント企画②企画立案・スタッフ役割について					前回授業内容を復習しておくこと。			
	13	イベント企画③進行表・スタッフ配置					前回授業内容を復習しておくこと。			
	14	イベント企画・運営④プレスリリース					前回授業内容を復習しておくこと。			
	15	イベント企画・運営⑤プレゼンテーション実施					前回授業内容を復習しておくこと。			
評価方法	講義中のプレゼンテーション(発言回数による意欲含む)、レポート提出により評価する。 授業内評価・・・授業態度・意欲を含む 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	プレゼンテーション			◎		○		50%		
	レポート提出			◎				30%		
	授業態度・意欲					◎		20%		
履修上の注意	再試験は実施しない。									

科目名	教養 I B											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		中村 里佳			
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験					
対象学科・学年	経営ビジネス科1年											
授業概要	就職試験に臨むためのSPI(非言語・言語)の内容を学ぶ。論理的思考を養う数学を主教科、読解力を強化する為の国語を副教科とする。											
	iCDタスクコード											
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○					非言語能力問題(損益・仕事・鶴亀・速度・確率等)ができる						
	○					言語能力問題(二語関係・文法・語句・長文理解)ができる						
テキスト・教材 参考図書	最新最強のSPIクリア問題集(成美堂出版)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	確率、言語問題										
	2	時事、割引料金と精算、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	3	分割払いと割合、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	4	推論①、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	5	推論②、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	6	推論③、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	7	時事、推論④、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	8	推論⑤、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	9	集合、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	10	時事、グラフの領域、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	11	時事、ブラックボックス、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	12	図表の読み取り、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	13	時事、物の流れと比率、言語問題					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	14	問題演習					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
	15	総復習					授業で解けなかった問題を復習しておくこと					
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。(3)課題はASOドリルレベル2国語数学の実力テストとする。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	◎										60%
	確認テスト	○										20%
	課題	○						○				20%
履修上の注意												

科目名	キャリアデザイン									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		藤本 清貴	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	経営ビジネス科1年									
授業概要	将来どのような働き方をして、どのような人生を実現したいのか自ら設計する。 就職試験の面接に合格する為に模擬面接を行い、質問の趣旨に沿った的確な受け答えができるようになる。									
	iCDタスクコード									
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				志望する業界・職種についての特徴を正しく理解し、志望理由を説明できる				
	○	○	○			面接の手順を理解し、ロールプレイングにおいて立ち居振る舞いを実行できる				
	○	○				面接において受けた質問に対して的確に受け答えを行える				
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック(麻生塾)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	就職環境を知ろう(就職活動の流れとスケジュール、様々な雇用形態と働き方)								
	2	自己分析・他己分析①					自己分析の課題を作成・提出			
	3	自己分析・他己分析②					自己分析の課題を作成・提出			
	4	仕事研究①(会社の基礎知識、業界と職種)								
	5	仕事研究②(会社の基礎知識、業界と職種)								
	6	自己表現①自己PR作成					自己PRの課題を作成・提出			
	7	自己表現②自己PR作成					自己PRの課題を作成・提出			
	8	自己表現①志望業種と志望職種					業界研究、職種研究レポートを作成・提出			
	9	自己表現②志望業種と志望職種					業界研究、職種研究レポートを作成・提出			
	10	面接試験対策①(求職票受付面接について、面接のマナーと動き)								
	11	面接試験対策②(求職票受付面接について、面接のマナーと動き)								
	12	面接試験対策③(よくある質問の傾向と対策、ロールプレイング)								
	13	面接試験対策④(よくある質問の傾向と対策、ロールプレイング)								
	14	面接試験対策⑤(ロールプレイング、課題フィードバック)								
	15	面接試験対策⑥(ロールプレイング、課題フィードバック)								
評価方法	(1)レポート・課題を提出する。(2)面接練習への取り組みを評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はR(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	レポート・課題		○	◎				60%		
	面接練習		○	◎	◎	◎		40%		
履修上の注意	レポート、課題は全て提出すること。									

科目名	経営戦略Ⅰ						
科目名(英)	Management StrategyⅠ						
単位数	4単位		時間数	60時間	担当者	島田英也	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	経営ビジネス科1年						
授業概要	経営戦略の意義、経営戦略立案ステップ、戦略ドメイン、SWOT分析、経営戦略手法(アンゾフ、市場地位別、PPM)、マーケティング)を学ぶ。経営戦略Ⅱの基礎編となる。						
	iCDタスクコード		ST01.1.2、ST01.2.1、ST01.2.2、ST01.2.5				
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				経営戦略立案のステップの各段階の意味を説明できる。	
	○	○				各戦略手法の意味と活用方法を説明できる。	
	○	○				経営戦略のステップや戦略手法を活用して事例に対する戦略案を立案できる。	
テキスト・教材 参考図書	「図解で分かる経営の基本 いちばん最初に読む本」、教員レジメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～3	シラバス説明、経営戦略の意義、株式会社の仕組み、新会社法					
	4	経営戦略のフロー				前回授業内容を復習しておくこと。	
	5～7	環境分析(SWOT分析概要、SWOT分析演習)				前回授業内容を復習しておくこと。	
	8～9	ターゲットの設定方法				前回授業内容を復習しておくこと。	
	10	ターゲットの設定方法演習				前回授業内容を復習しておくこと。	
	11～12	戦略ドメイン、経営戦略(アンゾフの成長ベクトル)				前回授業内容を復習しておくこと。	
	13	戦略ドメイン、経営戦略(アンゾフの成長ベクトル)演習				前回授業内容を復習しておくこと。	
	14～15	経営戦略(市場地位別の戦略、プロダクトポートフォリオ)				前回授業内容を復習しておくこと。	
	16	経営戦略(市場地位別の戦略、プロダクトポートフォリオ)演習				前回授業内容を復習しておくこと。	
	17～18	マーケティング戦略(意義、歴史、全体像、市場調査)				前回授業内容を復習しておくこと。	
	19	マーケティング戦略(意義、全体像、市場調査)演習				前回授業内容を復習しておくこと。	
	20～21	マーケティング戦略(市場調査、製品開発)				前回授業内容を復習しておくこと。	
	22	マーケティング戦略(市場調査、製品開発)演習				前回授業内容を復習しておくこと。	
	23～30	ビジネスモデル立案演習				前回授業内容を復習しておくこと。	
評価方法	(1)授業の中で課題レポートと小テストを複数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題レポート		◎		○		20%
	小テスト		◎				20%
	定期試験		◎				60%
履修上の注意							

科目名	ネットマーケティング									
科目名(英)										
単位数	6単位		時間数		90時間		担当者		瑠璃垣 孝一	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	経営ビジネス科1年									
授業概要	Webを中心としたネットワークを活用して、売上の拡大(新規顧客の獲得、既存顧客の維持)、各種ブランディング、顧客満足度向上、業務の効率化など、自社と市場との関係(接点)を構築する「インターネット・マーケティング」に関する知識を習得する。サーティファイ社主催「ネットマーケティング検定」を目標検定とする。									
	iCDタスクコード		該当なし							
授業形態	講義: ○		演習: △		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					インターネットマーケティングについて概要を説明することができる				
	○					インターネットマーケティングに関する専門用語を理解し、説明することができる。				
	○					WEBに関する専門知識を理解し、説明することができる。				
	○					経営戦略に合わせたインターネットマーケティングについて説明することができる				
テキスト・教材 参考図書	ネットマーケティング検定 公式テキスト / ネットマーケティング検定 過去問題集									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1-2	インターネットマーケティング概論					テキスト第1章の内容を復習しておくこと			
	3-4	インターネット技術概論					テキスト第2章の内容を復習しておくこと			
	5-6	インターネットマーケティングの個別手法					テキスト第3章の内容を復習しておくこと			
	7-8	インターネットリサーチ					テキスト第4章の内容を復習しておくこと			
	9-10	PR・ブランディング					テキスト第5章の内容を復習しておくこと			
	11-12	広告					テキスト第6章の内容を復習しておくこと			
	13-14	インターネット販売					テキスト第7章の内容を復習しておくこと			
	15-16	効果測定					テキスト第8章の内容を復習しておくこと			
	17-18	外注管理					テキスト第9章の内容を復習しておくこと			
	19-20	各種ポリシー					テキスト第10章の内容を復習しておくこと			
	21-22	関連法規					テキスト第11章の内容を復習しておくこと			
	23-24	コンプライアンスとCSR					テキスト第12章の内容を復習しておくこと			
	25-26	過去問題								
	27-28	過去問題								
	29-45	過去問題								
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。(3)授業態度・意欲を評価する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験		◎					60%		
	小テスト		○					20%		
	授業態度・意欲					○		20%		
履修上の注意	毎回授業で学んだ内容を復習しておくこと。									

科目名	商業簿記B						
科目名(英)	abookkeeping B						
単位数	2単位		時間数	34時間		担当者	藤本 清貴
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	経営ビジネス科1年						
授業概要	ロボット化、人工知能化が進む社会では生産性の向上が不可欠です。この授業では、自社の製品・サービスの原価(コスト)と売上や利益を正確に把握し、生産性を高めるために必要な原価計算を行えるようになることを目指します。						
	iCDタスクコード		SP02.3.1				
授業形態	講義:		演習:		実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				原価計算の基本用語を説明できる。	
		○				原価の分類を説明できる。	
		○				損益計算の基礎的概念を説明できる。	
		○				CVP分析や売上高についての予算実績差異分析など利益の計画と統制についての計算が行える。	
テキスト・教材 参考図書	スッキリわかる 原価計算初級・電卓						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	第1章 原価計算の基礎					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	2	第1章 原価計算の基礎、第2章 CVP分析					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	3	第2章 CVP分析と売上高の予算差異分析					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	4	第3章 損益計算、第4章 製造原価の分類と計算					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	5	第5章 仕訳のしくみ、模擬問題演習①					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	6	模擬問題演習②					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	7	模擬問題演習③					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	8	PC web模擬問題演習					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	9	PC web模擬問題演習					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	10	PC web模擬問題演習					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	11	確認テスト、PC web模擬問題演習					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
	12	PC web模擬問題演習					授業の復習・間違えた問題の解き直しをすること
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。(3)グループワークに積極的に取り組みグループに貢献しているかで20%の評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				60%
	確認テスト		○				20%
	グループワークへの取り組み				○		20%
履修上の注意	簿記のしくみは、知識を積み重ねていく内容となるため、復習と練習の繰り返しが重要な学習法となる。						

科目名	ビジネスマナー I B							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	姫嶋 幸子	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	航空会社で客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	経営ビジネス科1年							
授業概要	新入社員としての職場でのマナーを知り、仕事の基礎を身に付ける 取得目標検定:ビジネス能力検定ジョブパス3級							
	iCDタスクコード		「SP02.12.4」「SP02.12.5」					
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:		実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○				会社の基本的なルールや組織について、説明できる		
	○			○		顧客意識について、説明する事ができる		
		○	○	○		表やグラフから情報を読み取り、問題に正答できる		
テキスト・教材 参考図書	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト プリント							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	検定の概要について						
	2	キャリアと仕事へのアプローチ/仕事の基本8つの意識					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること	
	3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本/報告・連絡・相談					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること	
	4	話し方と聞き方のポイント/来客・訪問の基本マナー					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること	
	5	会社関係での付き合い/仕事への取り組み方					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること	
	6	ビジネス文書/電話対応のまとめ					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること	
	7	統計・データの読み方・まとめ方					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること	
	8	情報収集とメディアの活用/新聞を読み込む					確認テストを行うので、指定の範囲を復習すること	
	9	社会を取り巻く環境と経済の基本/ビジネス用語の基本					ビジネス用語の試験を毎回行うので、指定のページを覚えてくること	
	10	過去問題(平成28年度後期)・解説					ビジネス用語の試験を毎回行うので、指定のページを覚えてくること	
	11	過去問題(平成28年度前期)・解説					ビジネス用語の試験を毎回行うので、指定のページを覚えてくること	
	12	過去問題(平成29年度後期)・解説					ビジネス用語の試験を毎回行うので、指定のページを覚えてくること	
	13	過去問題(平成29年度前期)・解説					ビジネス用語の試験を毎回行うので、指定のページを覚えてくること	
	14	過去問題(平成30年度後期)・解説					ビジネス用語の試験を毎回行うので、指定のページを覚えてくること	
	15	期末試験に向けて復習・まとめ						
評価方法	(1)授業の中で確認テストを適宜実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	○	◎				80%	
	確認テスト	○	◎				10%	
	授業態度・意欲				◎		10%	
履修上の注意								